

厚生・産業常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成28年7月19日（火）

2 調査の概要

(1) 高等技術専門校草津校舎（草津市青地町）

高等技術専門校草津校舎は、滋賀県が設置運営している公共職業能力開発施設として、新規学卒者や離転職者、障害者を対象とした就職に必要な知識や技能の習得のための職業訓練をはじめ、在職者の能力開発や事業主に対する援助・相談等を実施している。

本県では、今年度、平成29年度から33年度までの5年間を計画期間とする職業能力開発計画の策定を予定しており、同計画に沿った職業能力開発の施策が進められる予定であることから、職業能力開発の現場である高等技術専門校の運営状況や同施設の現状と課題について、調査を行った。



(2) 成人病センター（守山市守山五丁目）

滋賀県立成人病センターは、県内唯一の県立総合病院として、昭和45年に開設され、がん診療や心臓血管診療等、県内の拠点病院として診療実績を上げている。同センターは、平成12年3月から第一期改築工事を行い、平成15年1月より新館での業務を開始したが、第一期工事後、医師・看護師の不足や財政状況の悪化などの事情により、当初、平成19年度に完成を予定していた新棟は全体が完成しないまま工事を中断することとなった。その後、医師・看護師の確保や経営改善がある程度進んだことから、病院機能の再構築や高度医療の強化を図るため、第二期改築工事を開始し、本年10月に新棟全体が完成する予定である。

病院事業庁では今年度、滋賀県地域医療構想を踏まえた「第4次県立病院中期計画」の策定を予定しており、県立病院の将来医療をどのように進めていくのか、今後、本委員会でも重点的に審議することから、成人病センターの新病棟に係る施設の概要を現地で確認し、今後の生活習慣病の拠点病院における課題等について調査を行った。



(3) 小児保健医療センター（守山市守山五丁目）

滋賀県立小児保健医療センターは、我が国 19 番目の小児総合医療機関として昭和 63 年に開設され、主に難治・慢性疾患を対象とした医療・保健・療育・福祉サービスの県の中核機関として、医療ケアの包括的な提供を行っている。

同センターでは昨年度、重症障害児や発達障害児の増加等を踏まえた将来の基本構想を策定し、他の病院では対応困難な難治・慢性疾患に特化して、機能を強化するとともに、成人病センターとの協働により、子どもから大人までの切れ目のない医療を提供できる仕組みの構築を目指している。基本構想を具体化するために、病院事業庁では、今年度「小児保健医療センター基本計画」の策定を併せて予定しているところである。

このことから、小児保健医療センターの実態を現地で確認し、小児難治慢性疾患の拠点病院における課題等について調査を行った。

